

ちょっと気になる おしりの話

～女性にとって～ vol.2



発行:地域医療連携室

女性にとって、おしりの病気はわりと身近で、よくある病気の一つです。恥ずかしさから誰にも相談出来なかったり、診察を受けることにとても抵抗があったりするものですが、“痔”で悩んでいる女性は本当に多くおられます。

治療も、手術だけではありません。ぜひ、このチラシをご覧ください。

女性が痔になる主な原因

便秘

女性が痔になる大きな要因です。排卵後～生理前には女性ホルモンの作用で腸の働きが鈍るほか、ダイエット、排便の我慢などにより便秘になりやすい傾向があります。

妊娠・出産

妊娠すると血液がお腹に集中するため肛門の血行が悪くなり、さらに胎児の成長による重みで骨盤が圧迫され痔になりやすくなります。

出産時は、強くいきむことにより肛門に排便時の数倍の負担がかかります。

また、授乳が始まると水分が不足して便秘になりやすくなります。

Q&A

冷えも痔によくありません
女性は冷えやすいため
注意しましょう

Q. 妊娠中・授乳中でも肛門の治療や手術が出来ますか？

A. 軟膏や坐薬、軟便剤など胎児や授乳に影響の少ないものを使って治療します。保存的治療をすることが原則ですが、必要な場合は妊娠5～8ヶ月の安定期または産後に手術をすることがあります。最も大切なことは便秘にならないようにすることです。

Q. 便秘で困っています

A. 基本的には食事、生活、運動、排便習慣が重要です。根菜、海藻、キノコ、発酵食品などの食事摂取を心がけましょう。規則正しい生活をし、散歩など適度な運動をしましょう。朝食をしっかりとって食後の排便を心がけましょう。排便を我慢することはよくありません。便秘の薬にはいろいろな種類があり、中には習慣性の強いものがあるため注意が必要です。肛門にも悪影響です。また病気が隠されていることもありますので要注意です。



医師 富岡 憲明 (とみおか のりあき)

■資格: 医学博士

日本大腸肛門病学会 専門医・指導医

日本臨床肛門病学会 技能指導医

日本外科学会 専門医

消化器がん外科治療認定医

緩和ケア研修会修了

■経験年数: 38年目

■出身地: 香川県さぬき市

■趣味: 卓球、温泉巡り

専門外来日: 毎週金曜日午後

※別日でも診察・相談承ります



お困りの症状、気になることなどございましたら、お気軽にお問い合わせ・ご来院ください。



医療法人 創生会
渡辺胃腸科外科病院

病院代表 086-525-2552

予約直通 086-525-2554